

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	情報処理	花田経子	1年次	春・秋

授業のキーワード	情報、情報学、情報処理、コンピュータ、IT、リテラシー、情報システム
授業の概要・目的	短期大学で学ばなければならない“情報学”について、体系的に学ぶ講義である。情報という言葉の本質的な理解、情報技術の仕組み、問題を解決するためのさまざまな手法を学び、その上で情報技術によって作られた情報システムを社会でどのように活用するかについて理解することが目的である。
履修のアドバイス・前提科目等	【履修上の注意】 講義形式ですが、レポートや課題においてPCの操作を義務付けます。 【履修における条件】 本講義では、『PCパス①』と『PCパス②』の取得を義務付けます。単位認定時に、パスがない学生は単位を認められませんので注意してください。

### 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション、パソコン操作基礎実習(1)	講義概要・運営方法、PCパス、新短ネットの利用方法、Googleによる情報検索	第9講	インターネットの仕組み	インターネットとは、プロトコル、パケット通信、ルーティング、LAN
第2講	パソコン操作基礎実習(2)	Webの仕組みとWebサービスの利用、新短ネットの各種機能	第10講	コンピュータの仕組み(1)	コンピュータの基本的構造、5大機能と5大装置、入力装置
第3講	パソコン操作基礎実習(3)	電子メールとはなにか、メール初期設定、メールの利用とネチケット	第11講	コンピュータの仕組み(2)	出力装置、CPUの構造と仕組み、主記憶装置、補助記憶装置
第4講	情報とは何か(1)	現代におけるITの位置付け、高度情報化社会とは	第12講	コンピュータの仕組み(3)	ソフトウェアの役割、プログラムとアルゴリズム、ソフトウェアの構造
第5講	情報とは何か(2)	情報とは何か、情報の5分類、情報処理の手順、情報処理とIT	第13講	現代社会とIT(1)～IT化の進んだ社会の落とし穴	ITを使った犯罪の実態とその仕組み、情報セキュリティとはなにか
第6講	情報技術の基礎理論(1)	ビットによるデータの表現、情報の単位、2進数と16進数、基数変換	第14講	現代社会とIT(2)～ITとこれからどう付き合うのか	現代社会とIT、情報システムとその分類、ユビキタスコンピューティング
第7講	情報技術の基礎理論(2)	文字データの符号化、画像データの符号化、音声データの符号化、浮動小数点	第15講	試験+レポート	第13講で課題を呈示し、レポートを定期試験時に提出。定期試験も実施する。
第8講	コミュニケーションとマルチメディア	情報の伝達、コミュニケーションの構成要素、メディアとマルチメディア	評価方法		(1)平常点(出席点+ミニ課題)：50% (2)定期試験+最終レポート：50%
備考 (関連する資格・試験等)		<p>☆PC実習(第1講～第3講)の際の持ち物：(1)『新短パソコン活用テキスト』、(2)USBメモリなど</p> <p>☆担当者メッセージ：Webページを閲覧しているだけでパソコンを使いこなしている“気”になっていませんか？本当の意味でのITを学ぶ良い機会です。新短のIT系講義のすべての基礎科目としてしっかり学んでください。</p>			
使用する教科書(必ず購入してください)			参考文献		

『コンピュータ概論——情報システム入門(第4版)』, 石原秀男・魚田勝臣他共著, 共立出版  
『新島学園短期大学パソコン活用テキスト』(履修ガイド  
ンスで配布)

『情報はなぜビットなのか』, 矢沢久雄著, 日経BP社  
『コンピュータはなぜ動くのか』, 矢沢久雄著/日経ソフト  
ウェア監修, 日経BP社